



1e2016-001

2016 会計年度

一般財団法人ワンアース  
事業計画書

平成 27 年 10 月

一般財団法人ワンアース



1e2016-001

## はじめに

一般財団法人ワンアースは、宇宙的視点から、この星の、いのちの美しさを体感し、ひとつの星で共生するという新しい価値観に基づいた文化交流で、世界を一つに繋いでゆく、という目的を掲げ、2015年6月5日に創立された。

本書は、当財団の2016年度(2015年10月1日から2016年9月30日まで)の事業計画を示すものである。

2015年10月1日

代表理事 長谷川洋一



1e2016-001

## 1. 当財団設立の目的

宇宙的視点から、この星の、いのちの美しさを体感し、ひとつの星で共生するという新しい価値観に基づいた文化交流で、世界を一つに繋いでゆく

宇宙飛行士が、宇宙から生々しい言葉と映像を伝える時代になり、この星のありのままの姿が認知されるようになった。その結果、かけがえのない母星で共に生きる『地球市民』という新たな価値観が、国境を越えて醸成されつつある。

一般財団法人ワンアース®(以下、ワンアースという)は、地球市民、とりわけ未来を担う青少年らとともに、宇宙的視点から、この星の、いのちの美しさを学ぶ。

そして、国境を越えた地球市民活動を展開し、各地域の風土や文化の多様性を、相互に敬意を持って受け入れ、宇宙文化とも言える新たな共通の価値観を紡ぎ出す。

これらの活動により、この星に生きる誇りと喜びを共有し、世界を一つに繋いでゆくことを究極の目標とする。

当財団は、設立以来 2020 年頃までは、以下の分野を重視する。

### 1) きぼうの桜事業

宇宙を旅した「きぼうの桜」群を筆頭に、「ソラユリ(宇宙を旅したササユリ)」「宇宙すみれ春野・希望(宇宙を旅したコスミレ)」を、東日本大震災、阪神淡路大震災、日航機墜落事故、原爆等の被災地に贈呈し、復興と市民交流を支援するとともに、大災害の記憶を人類共有の教訓として継承していく。

### 2) 宇宙文化の創造事業

国内外からの地球市民の参加を得て、国際宇宙ステーション等を活用した宇宙ミッションを実施し、宇宙的視野からみた地球の姿および宇宙飛行士からのメッセージなどを世界で共有し、宇宙文化を創造していく。



## 2. 前年度(2015 会計年度)の事業概要

- 2015 年 6 月 5 日 創立(登記)
- 2015 年 9 月 26 日 評議員会、理事会、設立記念パーティー開催
- きぼうの桜計画実行
  - 宇宙桜を保有する各地域を直接廻り、または調整し、復興のための苗の提供に係る協力を取り付けた
  - 東北三県沿岸の全ての市町村(復興推進課、総務課、企画政策課または市町村長)を訪問し、当該計画の直接説明を行い、理解が得られるよう努めた(原発直近 4 市町村を除いて33市町村)
  - 提案の了承が得られた市町村に関しては、宇宙桜の植樹に関する具体的な計画立案に着手した。
- 広報計画の実行
  - ホームページを制作した(内作)  
<http://www.the-one-earth.org/jp/>
  - きぼうの桜計画に関するパンフレットを制作し、約 1000 部配布した
  - クリアフォルダ、ピンバッジ、エコバッグ等を試作した
- 外部発表等
  - 学会発表: 日本櫻学会 口頭(2015.6.21)
  - 学会発表: 生態工学会 ポスター(2015.6.27-28)
  - 講演: 『Mother Nature 母なる自然と癒し』 淡路島(2015.8.9)
  - 国際宇宙物理科学シンポジウム(ISPS-6 in Kyoto) 展示(2015.9.14-18)
  - ラジオ: 大村正樹のサイエンスキッズ 文化放送(2015.9.26 & 10.3)
- 報道等
  - 山梨日日新聞(2015 年 8 月 28 日 写真入り)
  - 朝日新聞(2015 年 9 月 5 日 山梨版 文字のみ)
  - 八ヶ岳ジャーナル(2015 年 9 月 16 日 写真入り)



1e2016-001

### 3. 今年度(2016年度)事業計画

2015年に一般財団法人として設立したワンアースは、定款にて『非営利が徹底された法人』として活動の実績を上げつつ、2016年に、公益財団化の申請を行う。

きぼうの桜計画は、当財団の存在意義に関わる試金石でもあるため、最重要事業として推進し、2016年度中には東北三県のすべての沿岸市町村にて計画を公式化する。

さらに、きぼうの桜事業を全国的に認知してもらうためにも、公的補助金を獲得し、メディア露出含めた広報努力を行う。

また、2020年頃までの成果を目指した宇宙ミッションを検討し、外部有識者・協力者の意見も取り入れつつ、魅力的なプロジェクト計画を2016年度内に策定する。

以上の方針により、2016年度(2015.10.1-2016.9.30)は、以下の事業を行う。



1e2016-001

## 1) きぼうの桜

きぼうの桜事業とは、宇宙を旅した「きぼうの桜」を、再生のシンボルとして復興各地に贈呈・植樹する事業であり、桜の植樹後、恒久的な養育までを含むため、その事業期間は千年以上と想定している(当面の表記上は、3011年3月11日までとする)

# きぼうの桜

## 千年の津波から、千年の桜が守ってくれる

<宇宙桜の特長>

**数千年生きる**  
樹齢千年級の我が国屈指の名桜たちの直系。ソメイヨシノではなく、日本の古来種エドヒガンなど

**巨大化する**  
成長が早く、樹高30-40m(公園の桜は8m程度) 枝張りも20mを超える

**話題性がある**  
世界的に報道(BBC, AFPなど)されてきた宇宙桜は、明るい話題を提供する

今回の津波到達点

- ①巨桜が避難の目印に**  
安全圏を示す、子孫に伝承できる目標物
- ②雄々しい宇宙桜は希望のシンボル**  
尋常でないその生命力は、観る者に生きる力を与えてくれる
- ③新しい観光資源として**  
一本有るだけで渋滞が起こるほどの観光名所になる
- ④東北海岸で宇宙桜の巡礼ができる**  
地域交流、そして数千年続く文化事業を、今、はじめましょう

この事業をきっかけに、各地の市民・青少年交流を醸成し、ワンアースが掲げるあらたな夢と希望の宇宙文化活動を展開していく

本年度の業務範囲は、以下の通りとする。

- ① 東北三県沿岸の全ての市町村において、当該計画を公式化する
- ② 公式化した市町村から、随時計画を具体化する
- ③ 植樹に至るまでの文化・交流イベントを計画し、実施する
- ④ 宇宙桜・苗を保有する各地域を廻り、復興のための苗の提供に係る協力関係



1e2016-001

の維持に努める

- ⑤ 市町村単位のみならず、包括的なイベントや交流機会を企画する
- ⑥ 合唱曲「きぼうの桜」の委嘱制作
- ⑦ 宇宙・淡墨桜の里帰りプランの実現

きぼうの桜事業の詳細については文書番号 1e2016-002「きぼうの桜計画 2016年度版」に定め、随時改訂していくものとする。

## 2) 新規事業の創出

国内外の地域交流、教育に貢献するため、以下のような事業に着手する。

- ① 青少年と共に学ぶ宇宙教育
- ② 新たな宇宙フライトミッションの創出
- ③ 大イベントへの参画と、アピール機会の獲得
- ④ 国際交流とパイロット事業試行
- ⑤ 出版

## 3) 広報

- ① ワンアースのホームページを随時維持改訂・改善する
- ② ワンアースのパンフレットを随時維持改訂・改善する
- ③ イベント等の活用
- ④ ノベルティグッズ等

## 4) その他

- ① 公益財団申請
- ② 補助金の獲得
- ③ 協賛の獲得
- ④ オフィス等
- ⑤ キャンパス構想



1e2016-001

5. 長中期事業項目(2016-2020年)

一般財団法人ワンアースの社会的使命を果たすため、中長期的には以下の事業に取り組む。

- 1) 宇宙桜等の保護、育成、増殖及び活用
- 2) 東日本大震災、阪神淡路大震災等復興地への支援活動
- 3) 青少年等の夢をはぐくむ宇宙文化創造事業(市民参加型宇宙ミッション含む)
- 4) 宇宙文化交流事業(海外への桜贈呈等含む)
- 5) 地球市民参加型宇宙ミッション(花伝説世界版、地球のかげら など)

これらに関しては、今年度の事業進捗を踏まえつつ、次年度以降の事業計画に反映していくものとする。